

どこでも写真管理 Plus⁺

どこでも写真管理 Plus 出来形計測 (iOS 版) 操作手順書 (iTunes 使用時)

EX-TREND武蔵の出来形管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、実測値の計測と出来形写真の撮影をおこなう手順を解説します。

※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。
※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
ご了承ください。

目次

どこでも写真管理Plus 出来形計測 (iOS版) 操作手順 (iTunes使用時)

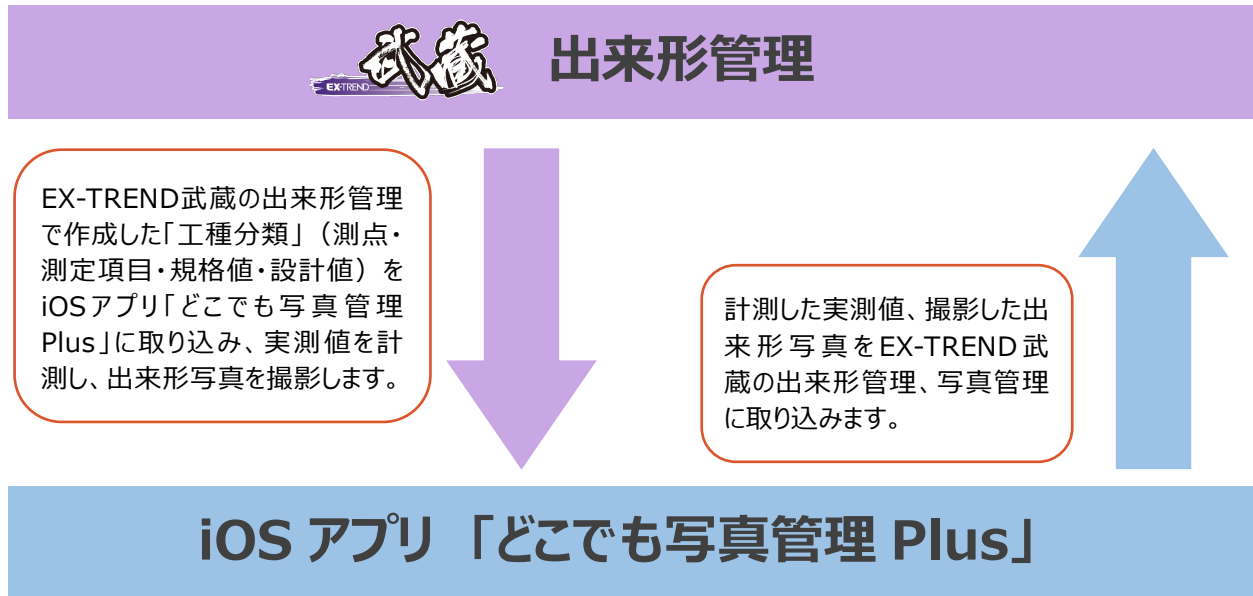
1. どこでも写真管理Plus 出来形計測の概要	1
1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について	1
2. 出来形管理からどこでも写真管理Plusに 工種分類を転送する	2
2-1 工種分類を作成する	2
2-2 転送先の工事データを作成する	4
2-3 iTunesを使って工種分類を転送する	5
3. どこでも写真管理Plusで 出来形データを入力する	9
3-1 iTunesで転送された工種分類を取り込む	9
3-2 実測値を入力する	10
3-3 出来形写真を撮影する	12
3-4 入力した出来形データを確認する	14
4. 入力した出来形データを 出来形管理に取り込む	15
4-1 iTunesを使って出来形データを取り込む	15
4-2 出来形管理に出来形データを取り込む	18
4-3 写真管理に出来形写真を取り込む	21

1

どこでも写真管理 Plus 出来形計測の概要

「どこでも写真管理Plus」とは、電子小黑板機能付き工事写真撮影アプリです。
また、アプリ上で出来形実測値の直接入力も可能です。

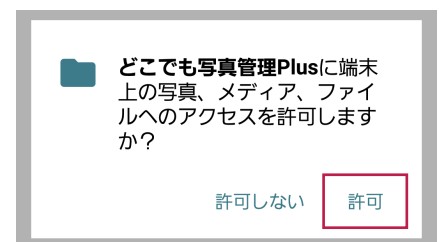
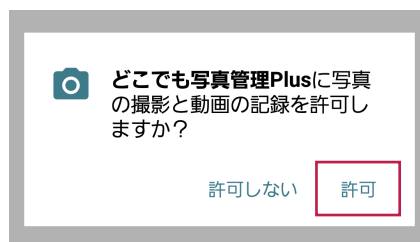
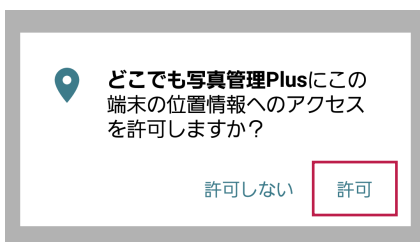
本書では、EX-TREND武蔵の出来形管理、iOSアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。



1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について

スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動した時に、各種動作の許可を求める画面が表示される場合があります。
この画面では、すべて「許可」を選択します。

【画面例】



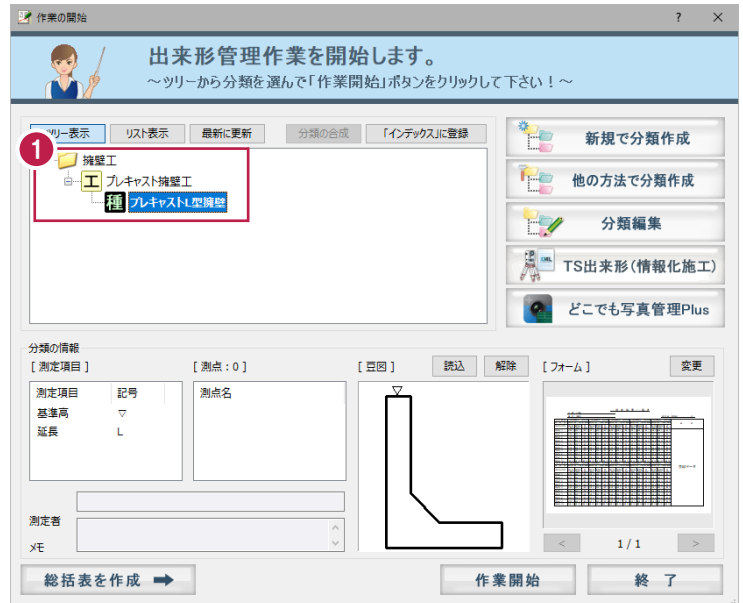
2

出来形管理からどこでも写真管理 Plus に 工種分類を転送する

2-1 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵の出来形管理で工種分類を作成し、「測点」「測定項目」「規格値」「設計値」を設定しておきます。

- 1 出来形管理で工種分類を作成します。

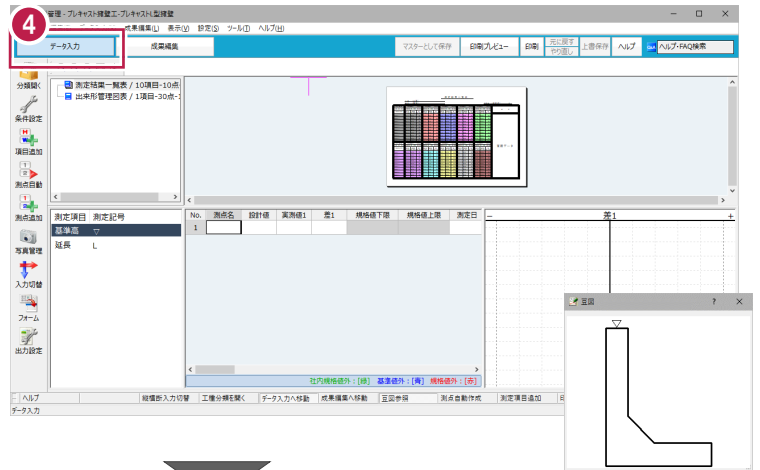


- 2 作成した工種分類を選択します。

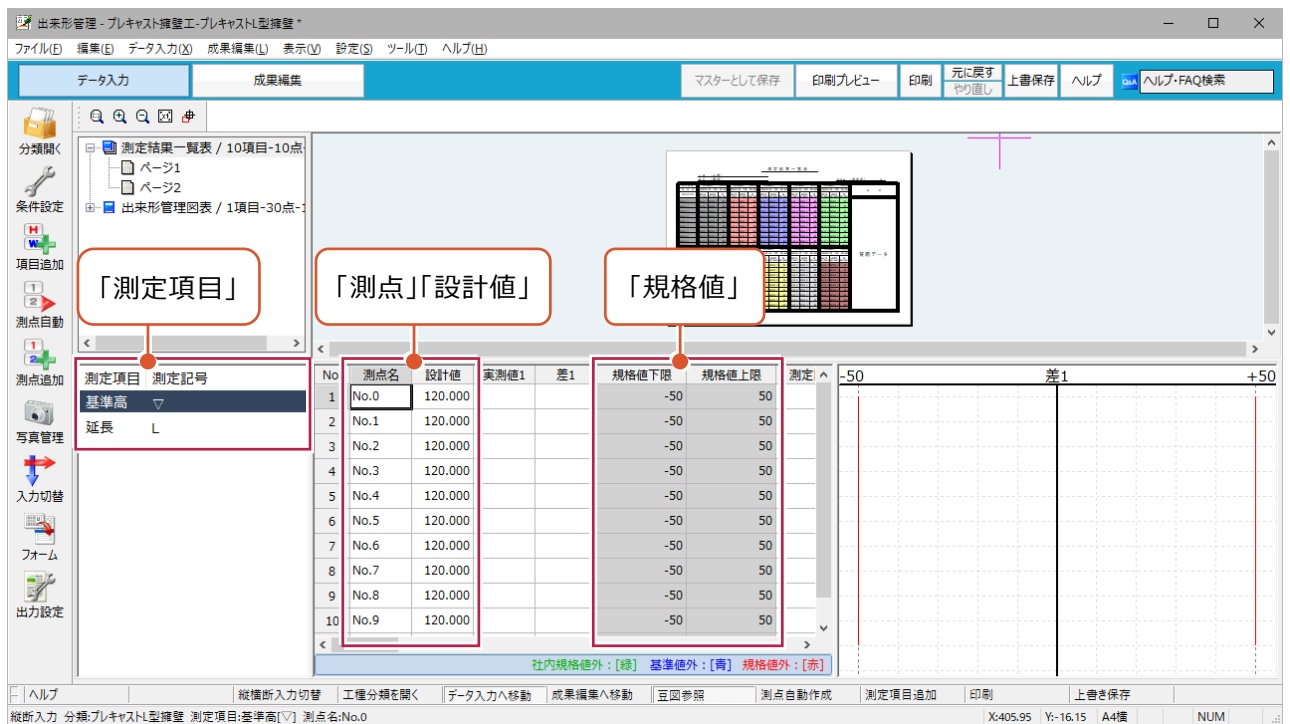
- 3 「作業開始」をクリックします。



4 [データ入力] ステージが表示されます。

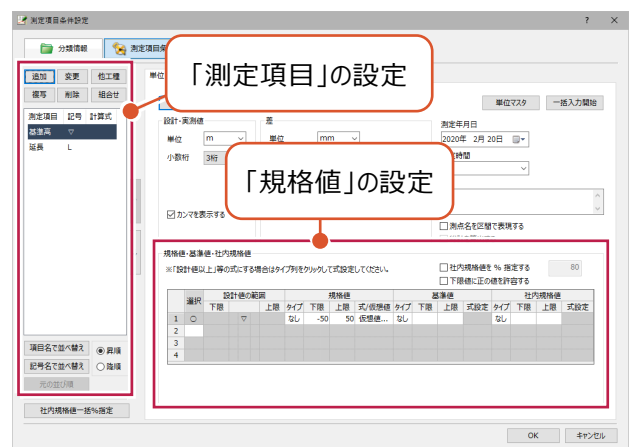
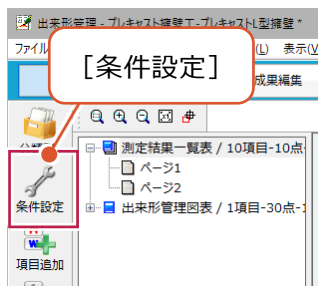


5 「測点」「測定項目」「規格値」「設計値」を設定します。



補足 「測定項目」「規格値」を設定するには

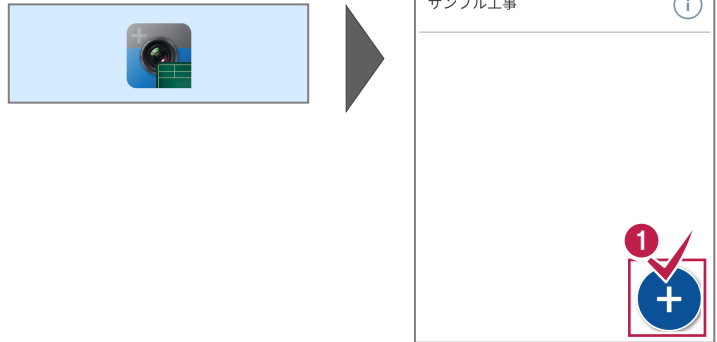
「測定項目」と「規格値」の設定は、
[条件設定] コマンドでおこないます。



2-2 転送先の工事データを作成する

あらかじめスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」で、工種分類の転送先となる工事データを作成しておきます。

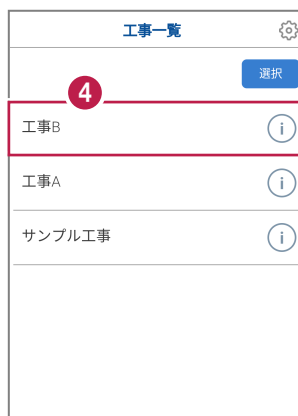
- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動し、[工事新規作成]（+マーク）をタップします。



- 2 [工事名称] など工事の情報を入力します。
- 3 入力を終わったら、[工事一覧] をタップします。



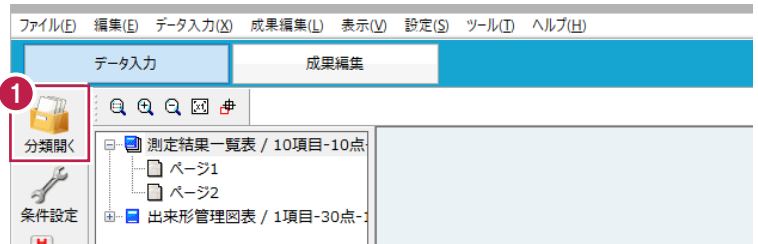
- 4 工事一覧に戻ります。
工種分類の転送先の工事が作成されていることを確認します。



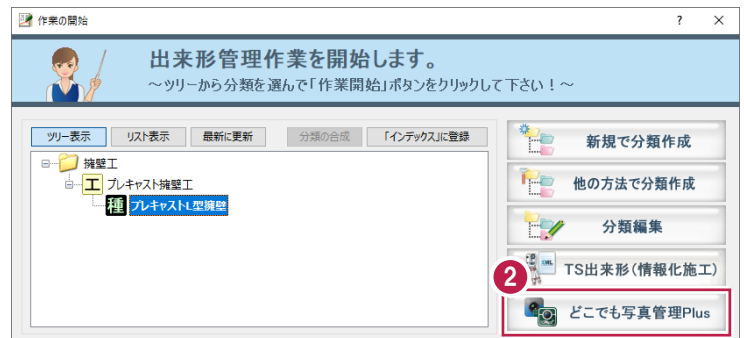
2-3 iTunesを使って工種分類を転送する

iTunesを使って、工種分類を「どこでも写真管理Plus」に転送します。

- 1 EX-TREND 武蔵の出来形管理で、
[分類開く] をクリックします。

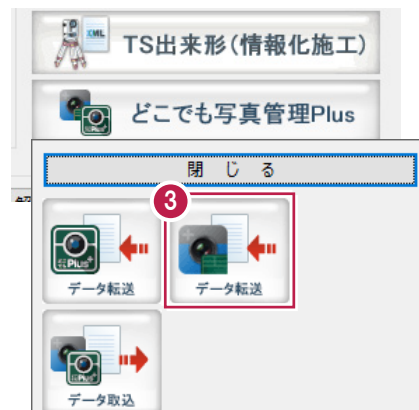


- 2 [どこでも写真管理 Plus] をクリックします。



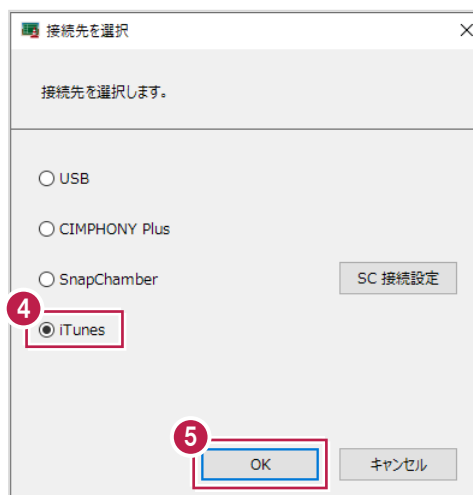
- 3 [データ転送] (右側) をクリックします。

データを転送するには、「黒板作成・
連携ツール」がインストールされている
必要があります。



- 4 接続先は [iTunes] を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。



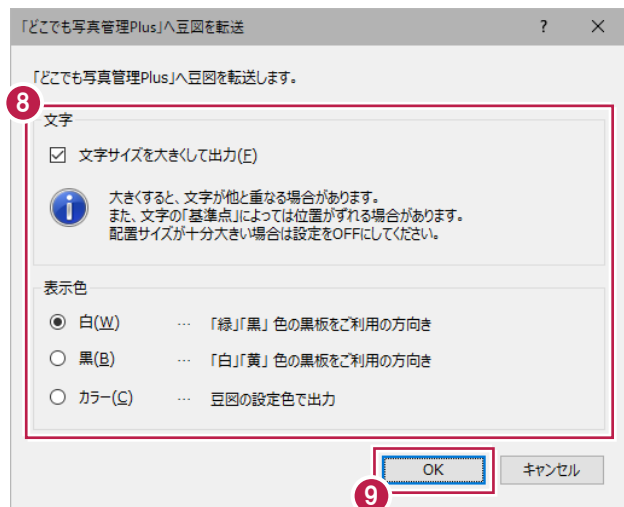
⑥ 転送する工種分類のチェックをオンにします。

⑦ [OK] をクリックします。



⑧ 豆図の文字、表示色を設定します。

⑨ [OK] をクリックします。

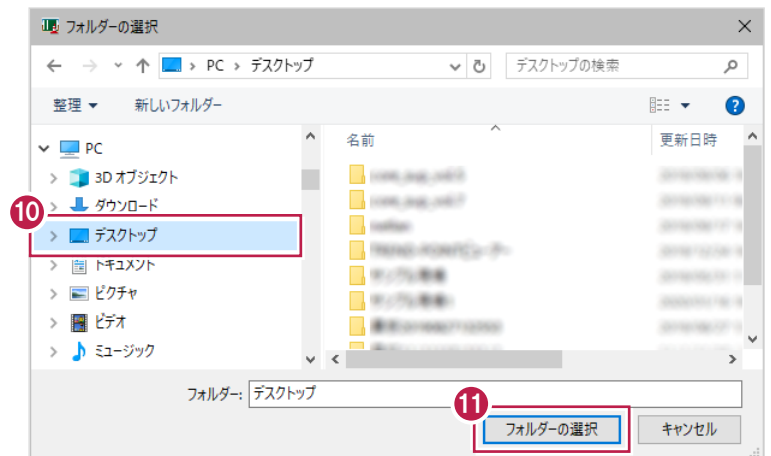


⑩ 出来形連携データを一旦 PC の任意フォルダーに出力します。

出力先のフォルダーを選択します。

⑪ [フォルダーの選択] をクリックします。

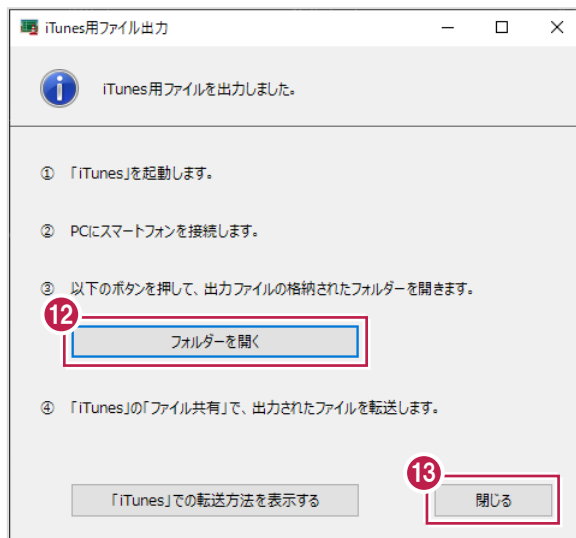
※指定したフォルダーに“出来形+日時”のフォルダーが作成され、データが出力されます。



12 [フォルダーを開く] をクリックします。

指定したフォルダーが開き、出力したデータが確認できます。

13 [閉じる] をクリックします。



14 iTunes を起動し、PC とスマートフォンを接続して、スマホのアイコンをクリックします。

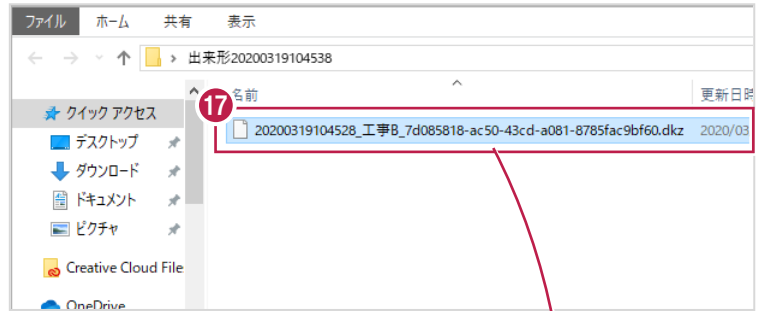


15 [ファイル共有] を選択します。

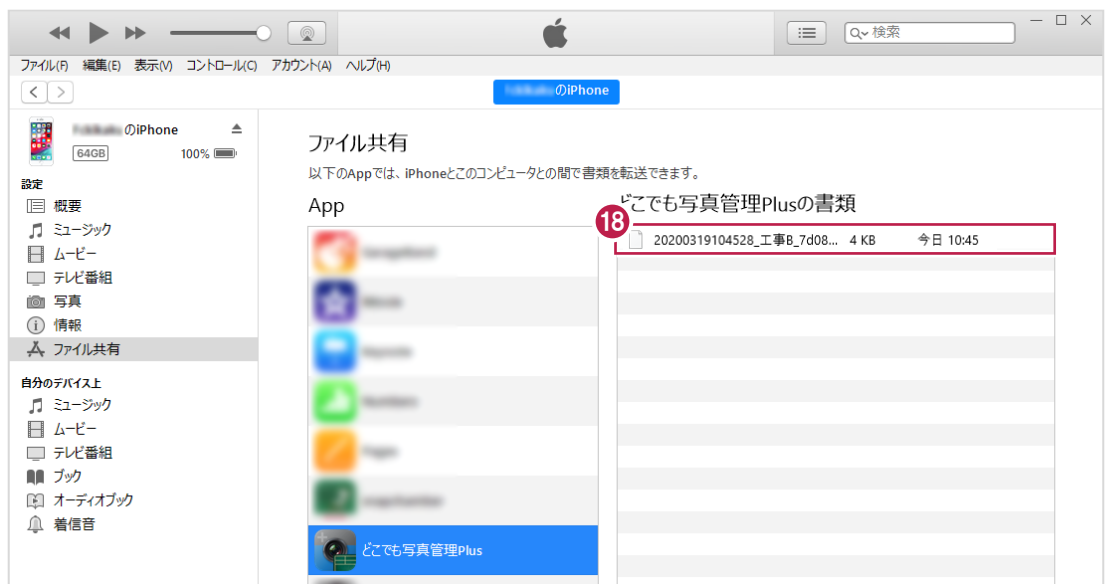
16 [どこでも写真管理 Plus] を選択します。



- 17 出力した出来形連携データの dkz ファイルを iTunes にドラッグ&ドロップします。



- 18 iTunes に出来形連携データが登録され、転送は完了です。



3

どこでも写真管理 Plus で出来形データを入力する

iOSアプリ「どこでも写真管理Plus」で、出来形管理から転送した工種分類に出来形データを入力します。

3-1 iTunesで転送された工種分類を取り込む

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動します。

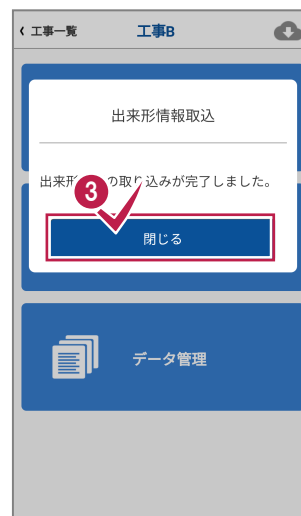
工種分類を取り込む工事をタップします。



- 2 「受信済みファイルが見つかりました。～」と表示されます。

取り込むデータをタップします。

- 3 取り込みが完了したら「閉じる」をタップします。



3-2 実測値を入力する

① [出来形計測] をタップします。

取り込んだ工種分類が表示されます。



② 実測値を計測する工種分類をタップします。

出来形画面が表示されます。



③ 計測する[測点]と[測定項目]をタップして選択します。

④ 実測値を計測して、値を入力します。



5 黒板画面の任意の箇所をタップして、出来形画面に戻ります。

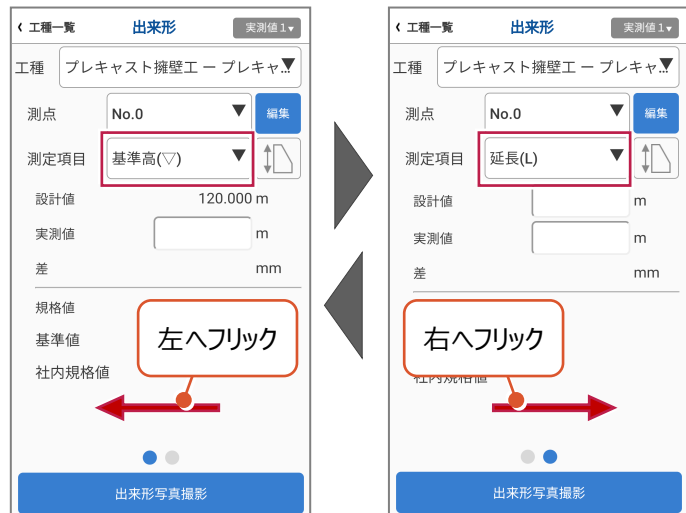
6 「差」が表示されます。

同様の手順で [測点] と [測定項目] を選択し、他の箇所の実測値の入力をおこないます。



補足 測定項目の切り替えは、画面フリックでも可能です

画面を左右にフリックすると、測定項目が切り替わります。



3-3 出来形写真を撮影する

① 出来形写真を撮影します。

写真を撮影する [測点] を選択します。

② [出来形写真撮影] をタップします。

撮影情報画面が表示されます。

③ 黒板に反映する測定項目のチェックをオンにします。

出来形

工種 プレキャスト擁壁工ープレキャスト

測点 No.0

測定項目 基準高(▽)

設計値 120.000 m

実測値 119.974 m

差 -26 mm

規格値 ±50

基準値

社内規格値

出来形写真撮影

出来形 撮影情報

黑板情報 写真情報 操作

工事名 工事B

工種 擁壁工

種別 プレキャスト擁壁工測点 No.0

	設計	実測
▽	120.000	119.974
L		

項目名	記号	設計値	実測値	単位	
<input checked="" type="checkbox"/>	基準高	▽	120.000	119.974	m
<input checked="" type="checkbox"/>	延長	L			m

④ [黑板情報] タブと [写真情報] タブをタップして、黑板情報と写真情報をそれぞれ確認します。

現場で入力する項目がある場合は、ここで入力します。

出来形 撮影情報

黑板情報 写真情報 操作

工事名 工事B

工種 擁壁工

種別 プレキャスト擁壁工測点 No.0

	設計	実測
▽	120.000	119.974
L		

項目名	記号	設計値	実測値	単位	
<input checked="" type="checkbox"/>	基準高	▽	120.000	119.974	m
<input checked="" type="checkbox"/>	延長	L			m

出来形 撮影情報

黑板情報 写真情報 操作

備考

写真タイトル

撮影箇所

No.0

写真区分

出来形管理写真

⑤ 写真を撮影します。[黑板情報] タブの [撮影] (カメラマーク) をタップします。

カメラが起動します。

出来形 撮影情報

黑板情報 写真情報 操作

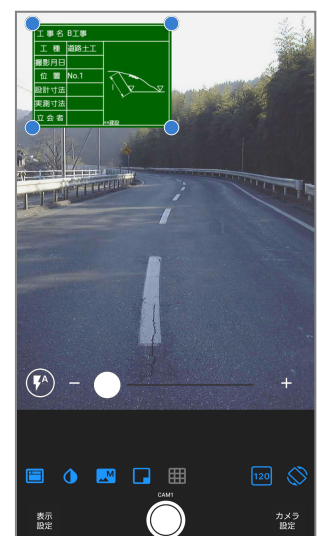
工事名 工事B

工種 擁壁工

種別 プレキャスト擁壁工測点 No.0

	設計	実測
▽	120.000	119.974
L		

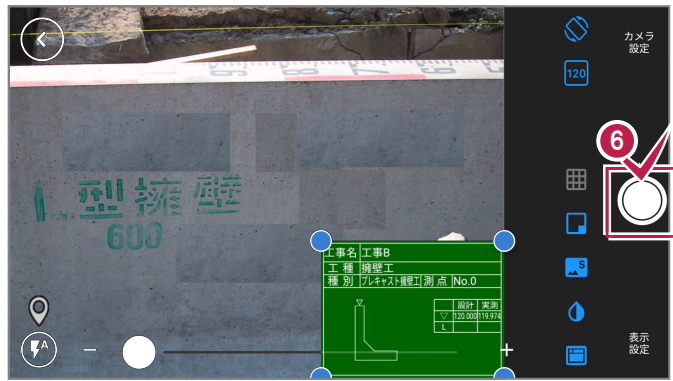
項目名	記号	設計値	実測値	単位	
<input checked="" type="checkbox"/>	基準高	▽	120.000	119.974	m
<input checked="" type="checkbox"/>	延長	L			m



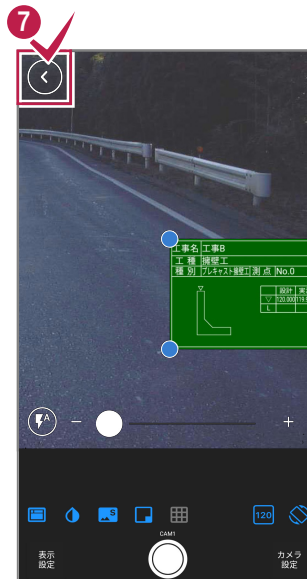
⑥ 黒板の位置はドラッグして移動できます。

黒板のサイズは黒板の四隅の「○」をドラッグして変更できます。

黒板の位置とサイズが決まったら、[撮影] ボタン (⊙) をタップして写真を撮影します。



⑦ 撮影を終えたら、カメラ左上の [戻る] ボタンで撮影情報画面に戻ります。



出来形 撮影情報

黑板情報 写真情報 操作 ▾

工事名 工事B
工種 擁壁工
種別 プレキャスト擁壁工 測点 No.0

	設計	実測
▽	120.000	119.974
L		

項目名	記号	設計値	実測値	単位
<input checked="" type="checkbox"/> 基準高	▽	120.000	119.974	m
<input checked="" type="checkbox"/> 延長	L			m

カメラ撮影

⑧ 左上の [出来形] をタップして出来形画面に戻ります。

同様の手順で [測点] を選択し、他の箇所の出来形写真の撮影をおこないます。

出来形 撮影情報

黑板情報 写真情報 操作 ▾

工事名 工事B
工種 擁壁工
種別 プレキャスト擁壁工 測点 No.0

	設計	実測
▽	120.000	119.974
L		

項目名	記号	設計値	実測値	単位
<input checked="" type="checkbox"/> 基準高	▽	120.000	119.974	m
<input checked="" type="checkbox"/> 延長	L			m

カメラ撮影

工種一覧 出来形 実測値 ↓

工種 プレキャスト擁壁工 - プレキャ...

測点 No.0 編集

測定項目 基準高(▽) ↑ ↓

設計値 120.000 m

実測値 119.974 m

差 -26 mm

規格値 ±50

基準値

社内規格値

出来形写真撮影

3-4 入力した出来形データを確認する

- ① 工種一覧に戻り、[結果一覧] をタップします。
各測点の測定項目と設計値、実測値が表示されるので、確認します。



結果一覧

プレキャスト擁壁工 - プレキャストL型擁壁

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m
延長(L)			m
No.1			
基準高(▽)	120.000	120.003	m
延長(L)	20.000	20.011	m
No.2			
基準高(▽)	120.000	120.027	m
延長(L)	20.000	20.008	m

- ② 出来形写真を撮影した場合は写真のアイコンが表示されるので、タップして確認します。
写真の確認を終えたら、左上の [結果一覧] をタップして結果一覧画面に戻ります。

結果一覧

プレキャスト擁壁工 - プレキャストL型擁壁

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m
延長(L)			m
No.1			
基準高(▽)	120.000	120.003	m
延長(L)	20.000	20.011	m
No.2			
基準高(▽)	120.000	120.027	m
延長(L)	20.000	20.008	m



- ③ 結果一覧の確認を終えたら、左上の [工種一覧] [メニュー] [工事一覧] とタップして、工事一覧画面まで戻ります。

結果一覧

プレキャスト擁壁工 - プレキャストL型擁壁

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m



4

入力した出来形データを出来形管理に取り込む

どこでも写真管理Plusで入力した出来形データを、EX-TREND武蔵の出来形管理、写真管理で取り込みます。

4-1 iTunesを使って出来形データを取り込む

iTunesを使って、出来形データをPCに転送します。

① どこでも写真管理 Plus で、出来形を計測した工事をタップして開きます。

② [出来形計測] をタップします。



③ 工種分類が表示されます。
[選択] をタップします。

④ iTunes に出力する工種分類をタップして、チェックマークを表示します。

⑤ [出力] をタップします。



6 [iTunes へ出力] をタップします。

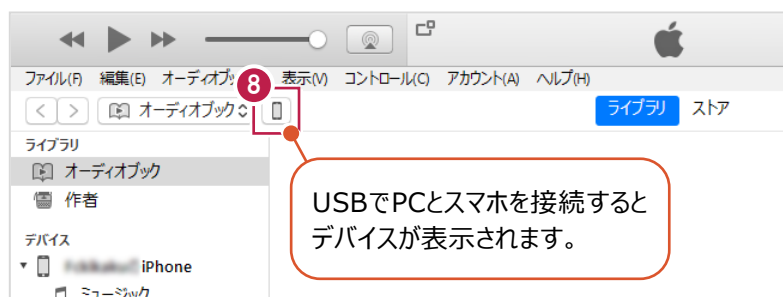
7 連携の準備が完了したら [閉じる] をタップします。



8 iTunes を起動し、PC とスマートフォンを接続します。

9 [ファイル共有] を選択します。

10 [どこでも写真管理 Plus] を選択します。



11 写真を取り込む工事を選択します。

12 [保存] をクリックします。

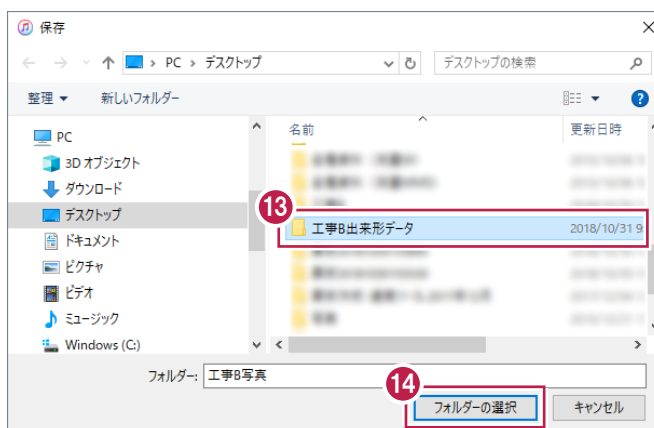


13 出来形データを保存するフォルダーを選択します。

※事前にデスクトップ等、分かりやすい場所にフォルダーを作成しておくことをお勧めします。

14 [フォルダーの選択] をクリックします。

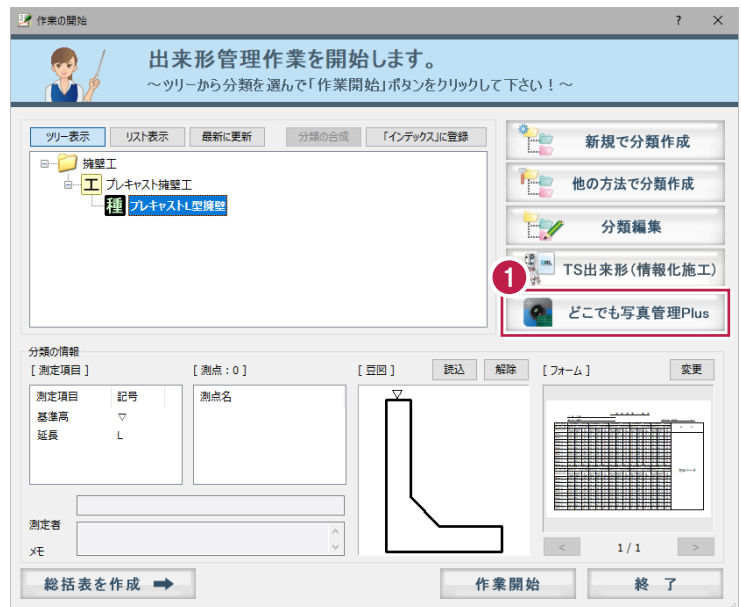
指定したフォルダーに出来形データが保存されます。



4-2 出来形管理に出来形データを取り込む

EX-TREND武蔵の出来形管理に、出来形データを取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の出来形管理で、
[どこでも写真管理 Plus] をクリックします。



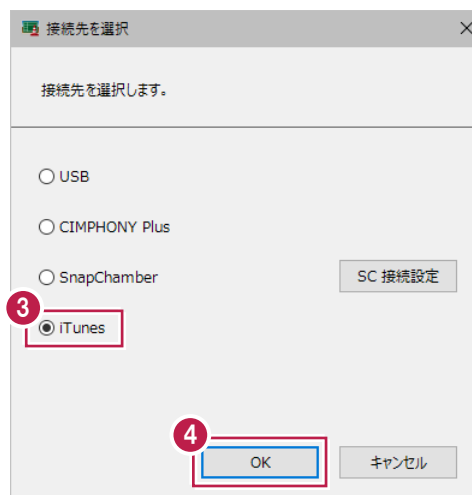
- 2 [データ取込] をクリックします。

データを取り込むには、「黒板作成・
連携ツール」がインストールされている
必要があります。

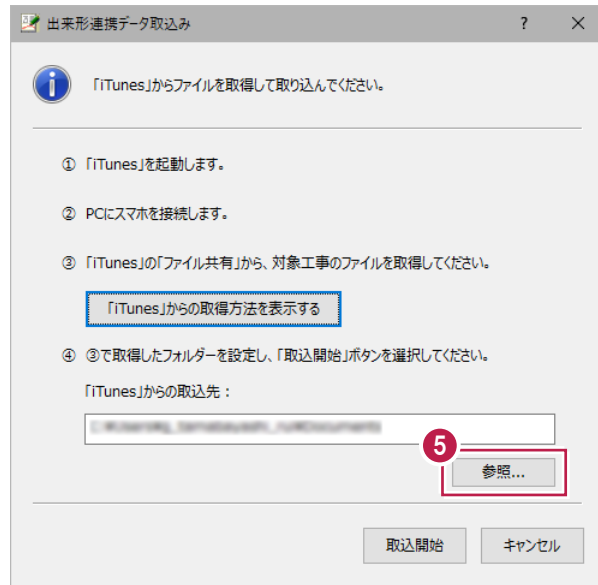


- 3 接続先は [iTunes] を選択します。

- 4 [OK] をクリックします。

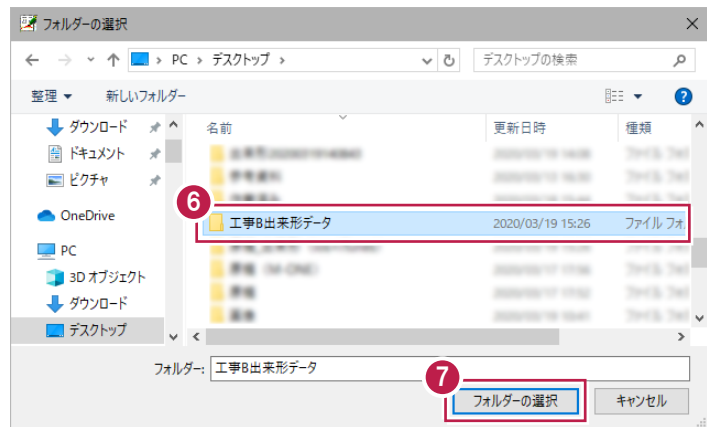


5 [参照] をクリックします。

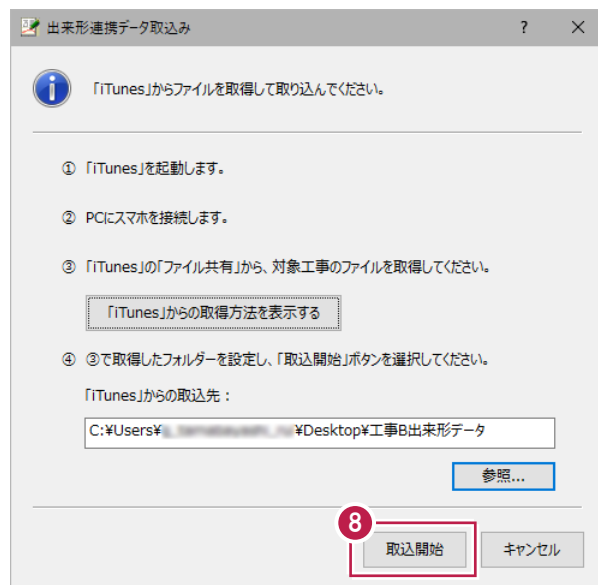


6 出来形データを保存したフォルダーを選択します。

7 [フォルダーの選択] をクリックします。



8 [取込開始] をクリックします。

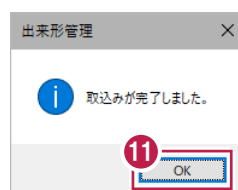


9 取り込む工種分類のチェックをオンにします。

10 [OK] をクリックします。

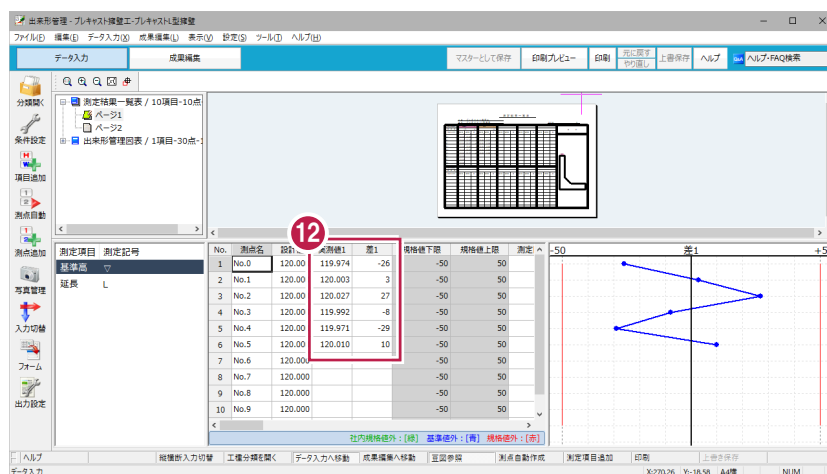


11 取り込みが完了したら [OK] をクリックします。



12 どこでも写真管理 Plus で計測した出来形データが取り込まれます。

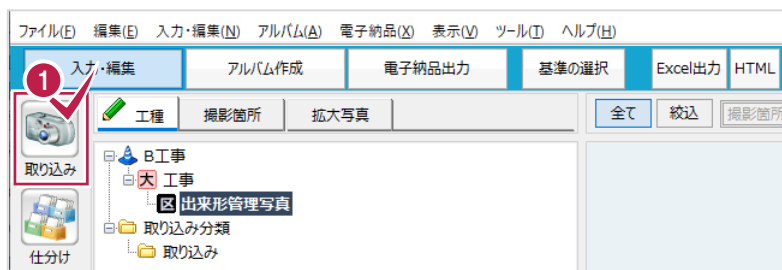
以上で出来形データの取り込みは完了です。



4-3 写真管理に出来形写真を取り込む

EX-TREND武蔵の写真管理に、出来形写真を取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



- 2 取り込み元で [ファイル] または [フォルダ] をクリックします。

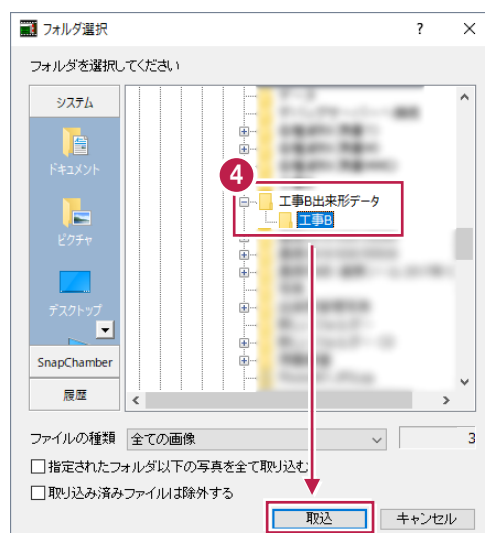
写真を選択して取り込む場合は [ファイル]、
フォルダー単位で取り込む場合は [フォルダ]
を選択します。

本書は [フォルダ] の場合で解説します。

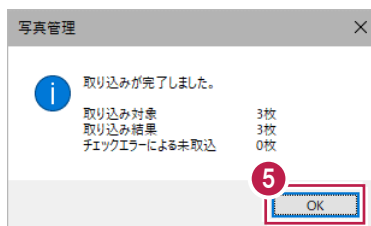
- 3 [OK] をクリックします。



- 4 出来形データを保存したフォルダーの中の「工事名称」フォルダーを指定して、[取込] をクリックします。

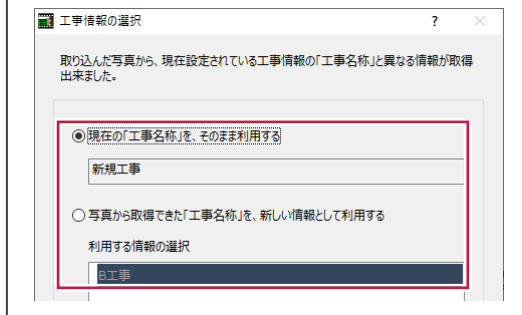


- 5 取り込み完了のメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックします。



補足 工事情報の選択

写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



- 6 出来形写真が取り込まれます。

以上で出来形写真の取り込みは完了です。

